



2022年 12月 図書館 利用状況	開館日数	利用者数	貸出者総数	貸出総冊数		リクエスト数	パソコン 利用	
	15日		177人	71人	158冊		7件	2件
		昼休み	42		1年	38冊		
		放課後	124		2年	19冊		
		その他	11		3年	44冊		
			職員	57冊				

★第34回 **読書感想画** 兵庫県コンクールに、本校生徒2名が入選しました。
おめでとうございます！

優秀賞 1年 古市瑞穂さん

感想画タイトル:『夢と希望のさばロケット第1号』

読書した本:

『さばの缶づめ、
宇宙にいく～
鯖街道を宇宙に
つなげた高校生たち』



水産高校で学ぶ生徒たちが十四年の歳月をかけて夢をつなぎ、宇宙食としての「さばの缶づめ」を作り上げ、宇宙飛行士の野口さんが宇宙で実際に食べるまでを追ったノンフィクション

— 作画感想 —

生徒のたった一言がきっかけで物語が動き出し、成長していく姿がとても感動しました。努力して作った「さばの缶づめ」が積み重なっていき、様々な人達と関わり合いながら、いずれは目標にたどり着くよという思いで描きました。さばをロケットに見立て、鯖街道という名のはしごを描く部分が難しかったです。ロケットに迫力を出すために、赤や黄色などで強調工夫しました。高校の取り組みをサポートした方々の思いが宇宙に飛び出してほしいです。

佳作 1年 山岡柚季さん

感想画タイトル: 『僕の日記』

読書した本:

『ぼくたちの
スープ運動～
小さな思いやりが
世界を変える!』



病気療養中の2人の約束は人いいことをすることだった。小さな思いやりが少しずつ人の心を変え世界変えていく感動の物語。

— 作画感想 —

同じ病を患っている2人は対照的で、マイナス思考のジョーダンと、重症であるのに感情豊かで明るいリオから、ジョーダンは現実を見つめ人助けをする、リオは天国でも生き生きとしているイメージで描きました。スープ運動には浮浪者を理解し難い大人たちの世界があり、それに向き合うジョーダんに心惹かれました。おそらくジョーダンの心の中には常にリオがいて、リオがジョーダンを強く、優しい人間にしたのだと思いました。

雑誌・付録 プレゼント!

『アニメディア』『スクリーン』『Non-no』『Number』『音楽と人』『Mr..PC』などの雑誌のバックナンバーや付録を抽選で希望者に差し上げます。

★申し込み日: **1月31日(火) 放課後** (3年生は31日の試験終了後に来てください)

★申し込み場所: 図書館

★当選発表: 2月2日(木) 当選者に連絡します。

★★★★★★★ 新 着 図 書 案 内 ★★★★★★★

『きらめきを落としても』講談社



鯨井 あめ/著
特別じゃない僕が、かけがえのない憧れに出会った。キラキラだったり、くすんでいた。青春を万華鏡でのぞくような、色とりどりの6編。あめ、ときどき、勇気。カラフルな青春短編集。

『赤ずきん、ピノキオ拾って死体と出会う』青柳 碧人/著 双葉社



七人の小人と暮らす白雪姫。鏡が映し出すものとは？ プレーメンに行きたくロバ・犬・猫。ハーメルンで遭遇した事件とは？ 子豚が建てた三つの家。その中で起きたこととは？ 赤ずきん、再び推理の旅に出る。

『イルカと少年の歌』 評論社 エリザベス・レアード/著



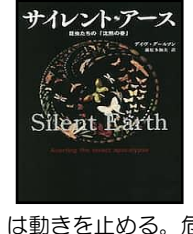
人間のイベントのせいで、イルカたちに危機がせまっていることを知ったフィン、なんとか助けたいと立ちあがる。仲間はずれにされていた少年が勇気をふりしぼって訴えたこととは？

『いけないII』 道尾秀介/著 文藝春秋



その写真を見たとき、物語は一変する。大きな話題を呼んだ“体験型ミステリー”第2弾。前作を凌ぐ、驚愕のラストが待つ！ 各話の最終ページにしかけられたトリック。

『サイレント・アース』 デイヴ・グールソン/著 森林伐採によって昆虫のすみかは縮小し、加えて急激な気候変動で虫たちの生態環境は悪化し、減少スピードが加速している。昆虫がいなくなれば、世界は動きを止める。危機を食い止める具体的な行動指針を示す、現代人必読の書！



『甲子園に行くのが夢だった 高校野球が教えてくれた大切なこと』 松永大輔/監修 飛鳥新社
日本全国で本当にあった高校野球ストーリー16。甲子園だけが高校野球ではない！ 涙がとまらない高校野球の実話。甲子園に行けた人、行けなかった人、球児を支える親の話

『甲子園に行くのが夢だった 高校野球が教えてくれた大切なこと』 松永大輔/監修 飛鳥新社



『世界の建築家解剖図鑑』 大井 隆弘/著
大建築家たちはどうやって名作をつくりあげたのか？ 古代エジプトから現代建築まで、世界の名建築をイラストで大解剖！ 世界を彩ってきた建築家でたどる新感覚・建築通史。60人以上の名建築家の、生い立ちから人物像や思想、代表的作品、人間関係まで。



『いつか必ず死ぬのに なぜ君は生きるのか』 立花 隆/著 SBクリエイティブ
2021年、この世を去った、知の巨人・立花隆が全生涯をかけて追ったテーマは人間とは何か？ 人生とは何か？ どう生きればよいのか？ どう考えればよいのか？ 宇宙、生物学、歴史、戦争…。あらゆるテーマから浮かび上がる、人間と人生の意味をめぐる旅

『いつか必ず死ぬのに なぜ君は生きるのか』 立花 隆/著 SBクリエイティブ



『人類の物語 ヒトはこうして地球の支配者になった』 河出書房新社 ユヴァル・ナハリ/著
私たちひとりひとりにはライオンほど強くないし、イルカほどうまく泳げないし、空を飛べる翼だってもっていない。それでも私たち人類は、ほかのどんな生きものにも負けないスーパーパワーをもっている。『サビエンス全史』を書いたユヴァル・ナハリが、その秘密をあきらかにしてくれる

『人類の物語 ヒトはこうして地球の支配者になった』 河出書房新社 ユヴァル・ナハリ/著



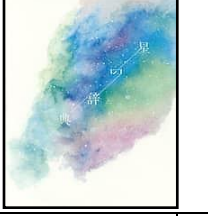
『世界の建築家解剖図鑑』 大井 隆弘/著
大建築家たちはどうやって名作をつくりあげたのか？ 古代エジプトから現代建築まで、世界の名建築をイラストで大解剖！ 世界を彩ってきた建築家でたどる新感覚・建築通史。60人以上の名建築家の、生い立ちから人物像や思想、代表的作品、人間関係まで。

『世界の建築家解剖図鑑』 大井 隆弘/著

『海の辞典』



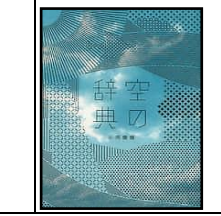
『星の辞典』



『花の辞典』



『空の辞典』



『草の辞典』



『石の辞典』



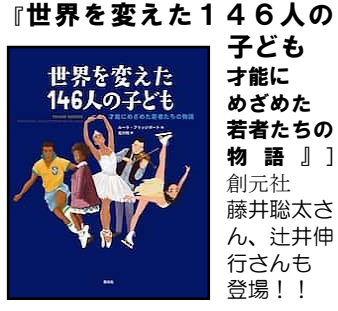
『世界の幻想的な風景』 『異世界のような絶景100』



『我々はどこから来て今どこにいるのか』上下 エマニュエル・トット/著
今なぜ世界は大混乱なのか。ホモ・サビエンス誕生からトランプ登場までの人類史を「家族」という視点から書き換える革命の書！



『世界を変えた146人の子ども 才能にめざめた若者たちの物語』 創元社 藤井聡太さん、辻井伸行さんも登場！！



『366日アスリートの名言』 みるみると心と身体にエネルギーが充ちてくる、今日のことば。

『この国は歪んだニュースに溢れている』 辛坊治郎/著

『社会という荒野を生きる』 宮台真司/著

『このミステリーがすごい！2022』 宝島社

『大学学部調べ 情報学部』『芸術学部』